

キャリアコンサルティング技能検定2級 学課・論述・面接試験 合格体験記

2026年 3月 29日

2級受検番号 NO 03S3521166

氏名 M.M

(茨城県在住)

■2級技能士を目指したきっかけ

5年前に国家資格キャリアコンサルタント（国キャリア）を取得し、実務経験3年の受検条件を満たしたタイミングで、2級技能士を目指すことにしました。資格取得後もキャリアカウンセリングに関する学習は継続していましたが、実務では十分な実践機会を得ることが難しく、自己研鑽の一つの目標として2級技能士取得を位置づけました。また、ちょうどキャリアカウンセリングの副業を始めたタイミングでもあったため、自己流にとどまらず、実務で通用するスキルを担保する一つの指標としても捉えていました。

■当初の勉強法

2級技能士の対策テキストを購入し、国家資格キャリアコンサルタント養成講座を受講した団体の対策講座に参加しました。学習はほとんど自己流で進めており、ロールプレイの練習も対策講座内で行ったのみでした。今振り返ると、試験で求められている評価区分への理解や、実践的な練習が不十分だったと感じています。1回目の受検では学科試験には合格したものの、論述・面接ともに合格点には及ばず、力不足を痛感しました。

■合格のきっかけ

2回目の受検も不合格となり、今後どうすべきか悩んでいたところ、2級技能士を取得している職場の方から、1級キャリアコンサルティング技能士の会の存在を教えてくださいました。「対策講座に参加して、はたと気づく瞬間があった」と伺い、自分も受講してみることにしました。講座では、実技試験で何が求められているのかを具体的に学び、2級技能士試験の評価区分に対応した対策の必要性に気づくことができました。また、対面でのロールプレイング集中講座にも参加しました。試験さながらの環境の中で、1日で4回のロールプレイング（オブザーバーを含めると6回）を経験したことで、まず場慣れすることができました。講師の皆様からのフィードバックは非常に具体的で、良い点と課題に加え、どのように改善すればよいかまで丁寧にご指導いただきました。その結果、「合格できるロールプレイ」のイメージを持つことができたことが大きな転機となりました。もともとロールプレイに苦手意識がありましたが、できている点も含めてフィードバックをいただけたことで、自信につながりました。その結果、貴会の講座に参加した3回目の受検では実技試験の点数が大幅に向上し、合格することができました。

＜実技試験の点数推移＞

受検回	論述	面接			
		基本的態度	関係構築力	問題把握力	具体的展開力
第33回	59	60	55	55	55
第34回	65	60	60	50	50
第35回	73	75	70	70	70

■学科試験対策

2級技能士の対策テキストを用いて練習問題や予想問題に取り組んだうえで、過去問を3年分ほど解きました。間違えた問題については、関連する理論や知識を改めてインプットし直すことを

繰り返しました。全体として、国家資格キャリアコンサルタントの知識で対応できる問題が多い印象でした。学科試験は1回目（第33回）の受検で合格することができました。

■論述試験対策

1回目は対策テキストで論述試験のポイントを一通り確認し、過去問を3年分解きました。模範解答などを参考にしながら答案を作成・ブラッシュアップしましたが、自己流で進めていたため、合格点には到達しませんでした。2回目は1級技能士の方に添削をお願いし、実際のカウンセリング場面を想定した、よりリアルな回答を作成することを意識しました。その結果、2回目の受検で論述は基準点を越えることができました。そして3回目の受検にあたり、1級キャリアコンサルティング技能士の会の対策講座を受講し、採点者目線を意識した答案の型を学びました。それまで自分にはなかった「採点者視点で答案を構成する」という新たな観点を得ることができました。型とリアル感の両方を意識して過去問を再度解き直し、試験に臨んだ結果、70点を超える得点で合格することができました。

■面接試験対策

前述のように、1回目は国家資格キャリアコンサルタント養成講座を受講した団体で対策講座を受講しました。CC視点とCL視点の違いについては理解できたものの、ロールプレイの練習が不十分なまま本番に臨みました。試験では講座で教わったシステムティックアプローチのプロセスを意識したものの、型通りの展開となり、クライアントの内面に深く関わることができませんでした。目標設定や方策の提案を一面的に行ってしまい、不合格でした。普段から大切にしている関係構築についても60点を下回り、かなりショックを受けました。

2回目は各ケースについて1回はロールプレイを行い、クライアントの話を丁寧に聴くことを意識しました。その結果、関係構築の点数は向上したものの、クライアントに気づきや行動変容を促す展開には至らず、問題把握力や具体的展開力の点数は下がってしまいました。もともと堂々巡りになりやすい傾向があり、試験でも同様の展開となってしまいました。

そして3回目、1級キャリアコンサルティング技能士の会の対策講座を受講し、各評価区分を意識したロールプレイを行わなければ合格には至らないことに気づきました。また、頭の中で考えていることも、ロールプレイの中で適切に表現・実行しなければ試験官には評価されない、という重要な視点を得ました。なぜ考えたことを実行できないのかを振り返る中で、見立てが甘く、情報収集に終始してしまい、適切な展開につなげられていない自分の傾向にも気づきました。

そこで今回の受検にあたっては、各ケースについて主訴、問題の見立て、それに対応した方策を事前に整理しました。思い込みでロールプレイを行うことは避けつつも、展開の材料を持って臨むことを意識しました。その上で、技能士の会の面接対策や他のロールプレイ練習会に参加し、「考えたことを実行する」練習を繰り返しました。毎回の振り返りで課題を明確にし、次のロールプレイに活かすことを継続しました。また、同じケースでも複数回、異なるクライアント役と練習することで、対応の幅を広げていきました。試験当日はこれまでと比べてロールプレイに集中することができ、目の前のクライアントとリアルに向き合う感覚を持って進めることができました。その結果、予想以上の高得点で合格することができ、自信につながりました。

■受検される方へメッセージ

試験を受けて不合格だった時、特に面接実技の不合格はかなり堪えるもので、自分は向いていないのではないかと感じたこともありました。ロールプレイの練習をすること自体が怖くなり、受検を

辞めてしまおうかと思ったこともあります。しかし、適切な理解にもとづく練習を重ねることで、今回合格に至ることができました。振り返ってみると、試験で求められていることを正しく理解したうえで対策を行うことが、重要であったと感じています。また、試験に向き合う過程を通じて、スキルの習得だけでなく、自分自身のキャリアコンサルタントとしての在り方についても、少しずつ見出すことができました。相談者の内面に丁寧に向き合い、見立てにもとづいた支援を行うことの重要性を、改めて実感しています。まだまだ研鑽が必要ですが、今回の合格を一つの転機として、また新たな目標に向かって歩んでいきたいと思っています。将来的には1級技能士の取得にも挑戦したいと思っています。試験に向き合うプロセスは決して楽しいことばかりではありませんでしたが、自分を信じて進んだ先には、きっと明るい未来が待っているはずです！